



騒音公害の対処法として有効だ。わが国の放送機器会社が世界で初めて開発した。さすが技術立国日本は凄い。

医療分野での応用を紹介しよう。歯医者によくと必ずマスクが2種類見つかると。1つは衛生上の



（医師 音楽家 板東浩）
 熟眠(sound sleep)に繋がること間違いはない。

心のビタミン No.212



ナイチンゲールという名称で、心を和ませ安らかにする新装置が発売された。ただコンセプトがやや怖い。目には目を、歯には歯を、ノイズにはノイズを。実を言えば、ハイテクで安眠できるという代物で、医学的にも効き目がありそう。

スマホ程度の大きさの機器で、部屋のコンセンクトに差しておく。すると、静かな空調音が流れてくる。環境音と逆相のノイズを出すことで、雑音が聞こえなくなるのだ。

理由でつけているマスク。他方は歯を削る不快な音を隠すため、院内に流れるBGMの音楽だ。これはサウンドマスキングと呼ばれる。

実は、携帯音楽プレイヤーでもノイズキャンセラーが活躍中。外界の雑音を消すので、イヤホンなのにあれほど明瞭に聞こえるというワケだ。

このように音の研究と応用が進んできた。今後私たちの生活にどう活用していくか。雑音で寝られない人はナイチンゲールを299ドルで購入してみるのも一案である。

ノイズでZZZZ...